

決勝は光星VS工大一

青森県 春季高校野球

春季東北地区高校野球青森県大会
第7日は27日、青森県球場で準決
勝2試合を行った。八学光星は青森
山田を投打で圧倒し、8-10で7回
コールド勝ち。工大一は八回に一挙
4点を奪い、9-15で弘学聖愛に逆
転勝利した。決勝に進出した八学光
星と工大一は、若手県で行われる春
季東北大会(6月7-11日)の出場

権を獲得した。
最終日の28日は、同球場で決勝と
3位決定戦を行う。
(千葉達也、磯野雄太郎)

きょうの試合

▽3位決定戦
青森山田1対弘学聖愛 10・00
▽決勝
八学光星1対工大一 12・30

青森山田 000 000 0 | 0
八学光星 005 021 X | 8

(7回コールド)
(青) 三浦、小嶋、関一鈴木
(八) 岡本、洗平、藤原
▷本塁打 新城(八)
▷二塁打 木村(青) 中澤恒(八) ▷暴投
三浦、関(青)
▷試合時間 1時間47分
(球審=長内、塁審=宇野、立花、伊藤)

【評】八学光星が投打で圧倒した。三回に打線がつながり、中澤恒の右越え3点適時二塁打などで一挙5点を先制。五回に2点を追加し、六回には新城のソロ本塁打でリードを広げた。投手陣は岡本、洗平の継投で青森山田の強力打線を零封。散発2安打に抑え、三塁を踏ませなかった。

光星 強力打線が本領

コールドで青森山田撃破

ハイライト



八学光星が持ち前の攻
撃力を発揮し、昨秋の県王
者・青森山田を7回コル
ドで下した。仲井宗監督
は「(相手の)投手陣はレ
ベルが高く、紙一重のど
ろもあつた。チャンスで打
つて、先制は三回。連打と敵失
で、打線が光った。」と
評した。

誇る青森山田の投手陣に対
し、打線がけん引する中軸
の活躍が光った。

で1点を奪った。さらに二
つの四死球で1死満塁とな
り、好調を維持する3番中
澤恒貴の打席を迎えた。

前の打席は遊ゴロ。直球
とスライダーで左右に揺さ
ぶられ、打ち損じたバツテ
ィングを修正した。外に逃
げるスライダーにうまく合
わせ、右方向へ狙い打ち。
「伸びてくれてほっとした」
という当たりは風に乗り、
右翼手の頭を越える走者一
掃の一塁打となった。

打線は勢いづき、五回に
4番長谷陸翔が自身2本自
の適時打を放つ。六回には、
新城雄麻が左翼席にソロ本
塁打をたたき込んだ。

強力打線を印象付ける完
勝だったが、中澤は反省も
忘れない。「膝下の変化球
の見極めが徹底できていな
かったし、走塁ミスもあつ
た。八戸対決となった決
勝の工大一戦に向け、「し
っかり勝ち切りたい」と短
い言葉に力を込めた。

(千葉達也)

【青森山田-八学光星】3
回八学光星1死満塁、中澤
恒貴が右越え3点適時二塁
打を放ち、4-10とする
— 青森県営